

設 立 趣 旨 書

1 趣 旨

時代の変化に伴い、現代での家族構成は核家族が主流となっています。マンションやアパートなどに居住する家庭も多くあり、昔ながらの親族や地域とのつながりが変化し、子育て期の「いざ」という緊急事態に、身近に頼れる人がいないご家庭も多くあります。

子育て期には、たくさんの支援の手が必要にも関わらず、特に日本の国内では産後ケアが充分だとは言い難く、産後の保護者への支援が薄い現状に加え、親族や地域にも頼れる人がいない状況から保護者が身心疲労し、精神的に追い詰められ、その結果として児童虐待による死亡は0歳児が全年齢の半数を占める統計結果となっています。

せっかく産まれてきた命が失われないためには、地域に子育て期の様々な方々が安心して過ごせる居場所が必要です。

また、家庭内での共働きも現代ではマイナーではありません。仕事をしながら子育てをする中で、食事の栄養価が偏ってしまったり、「食」の体験がなかったり、「食事」というよりも「栄養摂取」という状況で毎日を乗り越えている家庭もあります。

ですが、「食」は生きることと直結する、生活の中での大切な営みです。

私たち、特定非営利活動法人オハナプロジェクトは、主に未就学児を対象とした「こどもたち」、そして「食」を中心としたこども食堂事業等の居場所づくりを通して、地域ぐるみでこども達や子育て世帯を見守り、こども達を育んでいくことを目指します。

また、この居場所はこども達や子育て世帯などの来場者のためのみでなく、そこにボランティアとして参加する地域の方々の生きがいになる居場所であることも目指しています。

これらの活動を行う中で、地域内との連携、協力は欠かせません。私たち、特定非営利活動法人オハナプロジェクトは、私たちの活動に固執せず、地域内で真に連携し、協力していけるネットワーク構築にも力を注ぎます。

「子育てにもっと頼れる場所を」をモットーに、この居場所づくり事業に係る全ての方々が安心、安全に過ごせる継続可能な組織体制を構築していくために、非営利活動法人オハナプロジェクトを設立します。

2 申請に至るまでの経過

2019年10月にオハナ合同会社を設立し、2020年2月より十文字学園女子大学生生活環境研究所との共同事業「森の食堂」の開催準備を行っていたところ、コロナ感染拡大により当企画は中止となった。その後、2020年8月にオハナ合同会社独自のこども食堂として「アロハにいざ」を有限会社ボデーショップ佐野（新座市道場2-9-7）の敷地を借りて運営開始。当時のボランティアは6名。2020年10月からは、新座市内の個人営業の飲食店のテイクアウトを応援しながら、こども達を中心として地域と「食」でつながる「テイクアウト・ジャンボリンにいざ」を開催し、当企画には新座市、新座市教育委員会の後援もいただいた。

2021年度からは調理ボランティアが調理をしてお弁当を提供するスタイルで、新座市立中央公民館を拠点とし活動を開始。利用者からのボランティア参加希望もあり、2021年4月時点でのボランティア数20名の体制となった。毎月約100食のお弁当提供の活動を行う中で、地域の企業様からの協賛、片山小学校のSDGs総合授業への協力、十文字学園女子大学の授業への協力、埼玉県主催の「こども食堂フォーラム」での事例発表など、徐々に活動実績が認められてきた。

2021年10月、岸田総理が都内のこども食堂を視察し「今後はこども食堂などの支援のために、NPO法人への支援を強化する」との発言を受け、ボランティア達と相談し、NPO法人設立を決意。理事、監事、正会員のメンバーが揃う中で、地域の方より「こどもたちのために使ってほしい」とお話があり、賃貸契約の手続きを進め、2022年度からは「みんなで食べようスタイル」のこども食堂として計画を立て、NPO法人設立の準備を進めてきた。同年12月31日に設立時総会の議決を行い、社員総会の同意が得られたことから、今般NPO法人設立認証を申請するものである。

2022年 1月 14日

特定非営利活動法人オハナプロジェクト

設立代表者

氏 名 佐野 浩子